

講義コード	1039	科目区分	社会福祉士関連科目
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツロンイチ	(フリガナ)	タナカコウジ
授業科目名	社会福祉援助技術論 I	担当教員名	田中浩二
英文授業科目名	Social Work I		
基準年次(開講期)	2年生(前期)	履修形態	
曜日/時限/講義室	月曜日/2時限/324教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会福祉士, 相談援助, 専門職		
授業概要・目的	本講義は, 社会福祉士国家試験科目の「相談援助の基盤と専門職」(Professional basis of Social Work Practice)の内容の基礎部分にあたる。社会福祉士の役割と意義, 精神保健福祉士の役割と意義, 相談援助の概念と範囲, 相談援助の理念, 相談援助における権利擁護の意義と範囲, 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理, 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。		
到達度評価の 評価項目	本講義は, 社会福祉士国家試験科目の「相談援助の基盤と専門職」(Professional basis of Social Work Practice)の内容の基礎部分にあたる。社会福祉士の役割と意義, 精神保健福祉士の役割と意義, 相談援助の概念と範囲, 相談援助の理念, 相談援助における権利擁護の意義と範囲, 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理, 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 授業の進め方, 履修上の注意, 評価の方法などを説明		
第2回	社会福祉士とは 日本における社会福祉士		
第3回	社会福祉士の役割と意義①		
第4回	社会福祉士の役割と意義②		
第5回	精神保健福祉士の役割と意義		
第6回	相談援助の概念と範囲①		
第7回	相談援助の概念と範囲②		
第8回	相談援助の理念		
第9回	相談援助における権利擁護の意義		
第10回	相談援助に係る専門職の概念と範囲①		
第11回	相談援助に係る専門職の概念と範囲②		
第12回	専門職倫理と倫理的ジレンマ①		
第13回	専門職倫理と倫理的ジレンマ②		
第14回	総合的かつ包括的な援助と他職種連携(チームアプローチ)の意義と内容		
第15回	まとめ 振り返り		
教科書・参考書等	新・社会福祉士養成講座第6巻「相談援助の基盤と専門職」中央法規出版		
授業で使用する 機器等	定期試験によって評価する。60点以上を合格とする。		
予習・復習への アドバイス	的な概念の理解に困難を感じるかもしれないが, 気になったことばなどから, 自分で, 友人と一緒に考えてみる機会になればと		
履修上の注意・ 受講条件等	各回の授業ノートを作成し, 復習すること。 テレビやインターネット, 新聞等に掲載される調査結果に敏感になること		
成績評価の基準等			
メッセージ	定期試験によって評価する。60点以上で合格。		
オフィス・アワー			
その他			